公益社団法人アジア協会アジア友の会（JAFS）
特別企画

JAFS
Japan Asian Association & Asian Friendship Society

社会貢献という生き方

お話しの会
（ぞうすいの会）

1972 年、大阪で「インドに井戸を贈る活動」として始まった運動が 1979 年に現在の公益社団法人アジア協会アジア友の会（JAFS）となり 47 年が経過しました。JAFS 内で続いてきた「ぞうすいの会」とは、公益社団法人アジア協会アジア友の会（JAFS）が主催する、国際協力のためのチャリティを目的とした活動です。日常の飽食を見直し、質素な食事（雑炊）を食べることで節約できた費用を、アジアの発展途上国への支援や井戸の建設、学校の建設、衛生環境の改善などの資金として寄付します。1985 年に和歌山県新宮市の市役所職員をしている JAFS 会員が提唱し、新宮市役所内で開催したのが始まりで、JAFS 内で拡がり、現在では各地でぞうすいの会が開催されています。今回は軽食を食べながら、カジュアルな雰囲気の中で社会貢献をテーマにゲストの方のお話を聴く会として開催します。

長谷川雅子さん

11月21日（土）11:00 ～15:00

社会貢献という生き方
市民による国際協力の歩みとこれから
JAFSと私





ぞうすいの会は和風ぞうすいを予定（イメージ）

はせがわまさこ
一般財団法人 CSO ネットワーク共同代表理事。日本の NGO の歴史や実態に関する調査・執筆に携わるとともに、CSO ネットワークでは、企業のサステナビリティ支援や持続可能な地域づくりに関する調査・政策提言、多様な主体の連携促進に取り組んでいる。2027 年国際園芸博覧会協会 持続可能性有識者委員（2023 年 10 月～）、横浜市立大学、学習院大学、放送大学非常勤講師。大阪大学国際公共政策研究科博士課程修了（国際公共政策博士） また、1990 年代には JAFS のスタッフとして海外プロジェクトを担当し、JAFS の発展に貢献した。

トエエ・モン・ラカインさん

12月19日（土）11:00 ～15:00

日本で祖国への国際貢献
東京にミャンマー人のお寺を作った訳
JAFSと私と日本





ぞうすいの会はミャンマー料理を予定（イメージ）

とええ・もん・らかいん
バングラデシュとミャンマーにかけての地域に住む少数民族であるラカイン族の出身。日本に留学し、東京農工大学大学院博士過程を修了した農学博士で元 JAFS 奨学生。日本の IT 企業でエンジニアとして活躍後、外国人登録支援機関を経営し外国人の就労・自立支援に携わっている。浅草でミャンマー人寿司職人による寿司店「寿司令和」も経営した。軍事クーデター以降、日本で生活する在日ミャンマー人のために、巣鴨にミャンマー式の仏教寺院を設立した。この寺はミャンマー人のためのコミュニティや駆け込み寺としての役割も担っている。

会場：銀座キャビネットビル 4階



1 階に「銀座に志かわ」のあるビル

東京都中央区銀座 1-27-12
銀座キャビネットビル 4 階

東京メトロ有楽町線 新富町駅
2 番出口 徒歩 4 分

都営浅草線 宝町駅
A1 出口 徒歩 4 分

東京メトロ銀座線 京橋駅
2 番出口 徒歩 6 分

東京メトロ日比谷線・JR 京葉線
八丁堀駅 A2 出口 徒歩 7 分

主催　：JAFS 関東活動委員会

参加料：500 円 /1 名

お申込：右の QR コードから
フォームへご入力
ください。
jafskanto@gmail.com
あてメールでもお申込み
できます。

ご参加お申込み
QR コード

ご連絡：Email：jafskanto@gmail.com